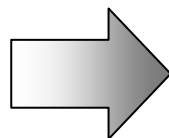


○平成19年度・放課後児童クラブ補助単価(案)【保護者負担1/2を除いたベース】

<18年度>

【281日以上(一律)】

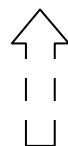
単価区分	単価	
281日	10~19人	1,131千円
	20~35人	1,683千円
	36~70人	2,640千円
	71人~	3,594千円



<19年度(案)>

【281日の場合】

単価区分	単価	(対18年度比)
281日	10~19人	1,393千円 (+262千円)
	20~35人	2,015千円 (+332千円)
	36~70人	2,811千円 (+171千円)
	71人~	3,607千円 (+13千円)



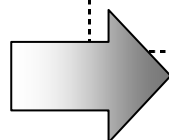
※251日以上は、250日単価に日数加算単価13千円を加算した単価を適用(加算は300日を限度)

【250日】

単価区分	単価	(対18年度比)
250日	10~19人	990千円 (+990千円)
	20~35人	1,612千円 (+1千円)
	36~70人	2,408千円 (+797千円)
	71人~	3,204千円 (+1593千円)

【200日~280日[特例分](一律)】

単価区分	単価	
200日	10~19人	-
	20~35人	1,611千円
	36~70人	1,611千円
	71人~	1,611千円



【200日~249日[特例分](一律)】

単価区分	単価	(対18年度比)
200日	10~19人	-
	20~35人	1,611千円 (+0千円)
	36~70人	1,611千円 (+0千円)
	71人~	1,611千円 (+0千円)

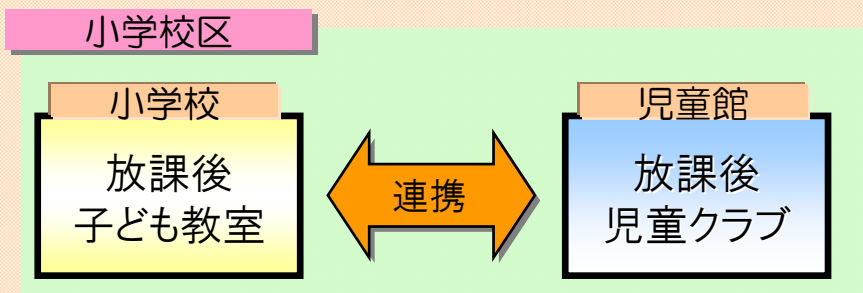
※平成19年度補助単価の見直しは、基本分のみ実施。

「放課後子どもプラン」の実施場所・実施形態の例

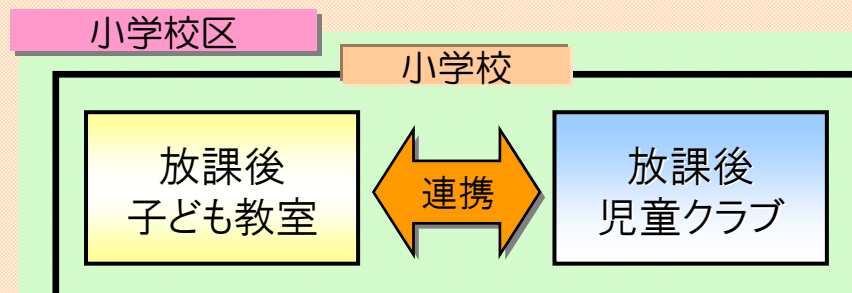
- 学校の余裕教室をはじめ、従来どおり、児童館、公民館等の社会資源の活用も図る。
- 地域の実情に応じた実施形態を幅広く認め、取組の充実を図る。主な実施例は、以下のとおり。

1. 両事業とも実施する場合

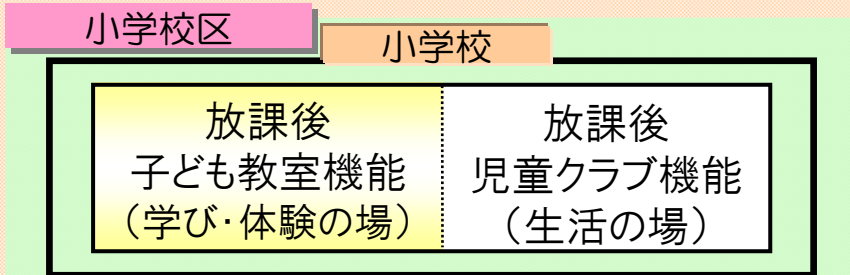
① 別々の場所（建物）で連携して実施



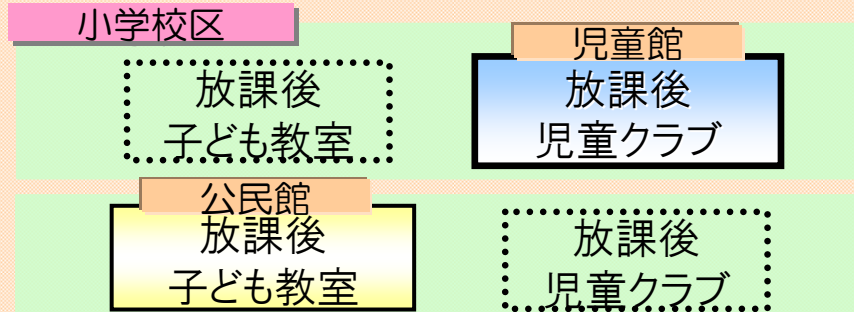
② 同じ建物内で、部屋を分けて連携して実施



③ 同じ建物内・同じ部屋で、一体的に実施



2. 片方の事業のみ実施する場合



(注) 放課後児童クラブの補助対象の可否については、実施要綱及び交付要綱の補助要件(放課後児童指導員の配置、専用スペース等の確保、必要な開設日数・開所時間の確保など)を踏まえ、個々のケースに応じて総合的に判断するものとする。